

## 第6回 桐生市学校規模等適正化川内中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年11月18日(火) 午後2時～午後3時23分

○場 所 桐生市立川内公民館 1階 集会室

### ○出席者

【桐生市学校規模等適正化川内中学校区検討委員会】9名

委員長	田村 光市
副委員長	大屋 昌太
委員	塩野 文男
委員	齋藤 慎也
委員	尾花 和子
委員	松本 明雄
委員	福田 康嗣
委員	須永 逸郎
委員	神山 精二

【桐生市教育委員会】10名

#### 《事務局》

教育部長	森 広一
教育部参事	渡邊 真宏
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部学校教育課長	須藤 英隆
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文
教育部教育環境課教育未来係	若井 寿樹
教育部教育環境課教育未来係	四分一 勝

【傍聴者】14名

【報道機関】1社

## ○議事の大要

### 1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

### 2 委員長あいさつ

### 3 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。
- ・配布資料の概要について、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、特になし。

### 4 議 題

#### (1) 学校統合に関する検討事項について

- ・第 1 回地域協議会の結果について、委員から報告。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長（委員長）	<p>本日は、学校統合に関する検討事項について、委員の皆様にご協議いただきたいと思います。はじめに、10月16日に開催された第1回相生・川内地域協議会の結果について報告をさせていただき、地域協議会の結果や、これまでの資料18、追加資料にあるケースを参考に、川内中学校区の方向性について、小学校、中学校区の順に、委員の皆様全員のご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>なお、本日、皆様からいただいたご意見につきましては、後日開催予定の第2回地域協議会において、川内中学校区の考え方として報告し、再度、相生中学校区と学校適正配置の方向性を協議することになります。</p> <p>先日開催されました第1回の相生・川内の地域協議会の結果について、委員からご報告をお願いいたします。</p>
委員	<p>それでは、ご報告させていただきます。お手元に、「第1回地域協議会の中学校区意見一覧」という参考資料があると思いますが、主に1枚目を参考に報告させていただきます。</p> <p>まず、小学校については、先ほどからも出ていますように、ケース③の川内小を残すという案を出させていただきました。それに基づいて、相生中学校区の検討委員の皆さんにご報告いたしました。川内中学校区としては、統合の必要性を理解していますが、川内の教育環境を残したいという強い思いから③のケースが出てきたということです。</p> <p>保護者にアンケートを実施しているということに関しては、私が小学校のPTA会長をしている立場として、保護者の方の意見をお聞きしたいということで、校長先生にお願いして実施させていただいたものであります。アンケート結果は、この後に報告させていただきますが、相生地区の皆さんにも、アンケートしていることは伝えました。</p>

発言者	発言内容
	<p>小学校がなくなった場合、地区の保育園に影響が出るだろうという意見があつたこと、川内の教育環境を見捨てられないという意見があつたことをお伝えいたしました。</p> <p>保護者のアンケート結果でも報告しますが、相生までの通学が一番の不安だということも正直なところでありますので、その辺も含めて相生中学校区の委員にはお話をさせていただきました。</p> <p>相生中学校区検討委員会の委員の皆さんのお印象ですけれども、川内地区がケース③を取り入れたということもあり、かなり配慮していただいたご意見をいただいたと感じております。相生中学校区の委員の皆さんには、相生小、天沼小と川内小の3校で一緒にどうですかというお声掛けをしていただき、川内地区の皆さんに来ていただけるのであれば、是非、一緒に学びましょうという言葉もいただきました。相生中学校区の検討委員の皆さんには、川内中学校区の気持ちを配慮していただいたと思っております。</p> <p>続きまして中学校についてですが、川内中も、部活動や学校行事、全教科における専科教諭の配置などを考えますと、一定の生徒数を確保しなければ、教育環境としては難しいだろうということで、統合はやむを得ないだろうという意見が、検討委員会の中でも出されていますので、ご報告をさせていただきました。</p> <p>ただ、相生中学校区の委員の皆さんからは、例えば、小学校を相生小か川内小に残す場合に、中学校で初めて相生中の生徒と川内中の生徒が、顔を合わせることになるので、中1ギャップがあるのではという意見はありました。自分の経験からしても、中学校という微妙な年頃ですので、新しい生活や学校環境に馴染めるのか、人それぞれではありますが、心配している部分ではあります。しかし、小学校のうちから、川内小と相生小で連携をしていくような対策ができれば、中1ギャップを軽減し、乗り切ることは可能ではないかと考えております。</p> <p>地域協議会で本当に印象に残ったのは、先ほどもお話をさせていただきましたが、相生中学校区の委員の方からは、できれば一緒に学びたいというお声掛けをいただき、言葉も配慮していただきました。今回も含めて、今後も協議を進めてまいりたいと思います。以上が第1回の地域協議会の報告です。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。ただいまの報告内容について、何かご質問がございますか。まずは、報告内容のご質問にとどめていただき、皆さんの意見をお聞きできればと思います。順番でよろしいでしょうか。委員から、報告事項についてのご質問があればお願ひします。
委員	特に今のところはありません。
議長(委員長)	特になしということで良いでしょうか。それでは、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。特にないようですので、資料18から20までの事務局からの報告の内容を参考に、今後の小学校の方向性について、皆様の意見を順番にお聞きしたいと思います。具体的には小学校の方法については、ケース①、ケース②、ケース③のどの方法が良いのか、また、別の方法があるの

発言者	発言内容
	かを踏まえて、全員の意見を聞かせていただければと思いますので、よろしくお願ひします。それでは、委員からお願ひします。
委員	<p>それでは、この場をお借りして、小学校で実施した統廃合のアンケートについて、お話をさせていただきます。お手元にグラフが載っている資料があると思います。教育委員会の皆様には事前にアンケートの報告はさせていただいております。</p> <p>アンケートは、144件の回答がありました。学校の配信システム「すぐ一 る」を使わせていただきました。送信総数が181件で、回答率が79.58パ ーセントと約80パーセントの保護者の方にご回答をいただいております。内 容は、ケース①、②、③と、その他という形でアンケートを実施しています。</p> <p>結果については、ちょっと意外と思われる方もいらっしゃると思うですが、大 多数が川内小を現状維持とする意見が多いのかと思っていたのですが、実 際、結果を見ると、わずか半数を超えております。25パーセントの方は、 ケース①の3校を1校に統合をするというアンケートの結果も出ておりま す。学校は残したいけれども、実際子供たちのことを思うとどうなのかな という、保護者としての心の声を感じました。その他の保護者の意見で多 数あったのは、三つのケース以外では、小中一貫校を選ばれる方でした。</p> <p>その他、学校統廃合に関するご意見がありましたらお書きくださいという フリーのコメントについては、46件の意見がありましたが、その中で一番多 かったのは通学問題でした。例を挙げると切りがありませんが、場所的に遠 いということや、統廃合の結果が出る前に、桐生市の方から、ある程度具体 的にどういう形で通学するのかという提案をしていただいた方が、現実味が 湧いてくるというご意見がございました。恐らくどういった通学手段を取 るのか不明だと思いますので、保護者の方の不安要素としてあったようです。</p> <p>次に多かったのは、地域に関するもので、地域から学校がなくなってしま うと、地域が衰退してしまうことを懸念される意見が多数ありました。</p> <p>その次は、学校の環境で、他の地域から来られた方は、川内の環境が良 くて川内に来ましたという保護者の方も何名かいらっしゃいまして、私達と同 じ考えではあると思います。どうしても川内の環境は残したい、失いたくない という思いでコメントしていただいた保護者の方は多数いらっしゃいました。</p> <p>一人ですけども、各案のメリットデメリットを聞ける説明会の開催を、お 願いできればというコメントもございました。現実的な見通しが分からな いことかと思いますが、統合後の移動手段と学童の説明があった方が、現 実的に考えられるのではないかというコメントがありました。</p> <p>恐らく以前に傍聴された方が書かれたと思いますが、会議に女性が一人し かいないというコメントがありました。実際、母親の視点が入りづらく、そ の結果、お母さん方に負担がかかってしまうのではないかというコメントも ございました。今後どういう形でこの検討委員会が進むか分かりませんが、 私もそういったことを感じたところはございました。</p>

発言者	発言内容
	このアンケート結果については、時間がある時に目を通していただければ、それぞれ保護者の方の意見がありますので、その辺も含めてご覧になっていただければと思います。
議長(委員長)	ありがとうございました。それでは続きまして、委員からお願ひします。
委員	<p>私は川内に住んでいるわけでもなく、相生に住んでいるわけでもありません。それぞれお住まいになっている地域の皆様は、地元愛が非常に強いように感じております。</p> <p>学校の立場でお話をさせていただければと思います。子供たちの教育環境を考えたときに、自然環境は非常に大事な要素の一つだと思っております。一方で、それだけではなく、一定の学校規模や教職員などの人的な環境というのも、必要になってくると思います。桐生市全体がそういった危機的状況になってきていることを背景に、統廃合も含めた検討委員会が各地区で行われていると思います。具体的には、事務局が基本方針で示しているように、小学校では12学級以上、中学校では1学年3学級以上という学校規模が、学校の立場としては妥当であると考えています。</p> <p>今までの資料を見ると、今後、児童生徒数が減少していくことは、明白になっているかと思います。今回、ケース③が新たに提示されておりますが、このケース③で懸念していることは、川内小は、7年後ぐらいには、全ての学年が単学級になってしまふ見込みになっていることです。全校児童が100名程度になってしまい、低学年においては、1学年15名前後の人数になっていきます。今後、子供たちの数が増える見込みは、川内地区も含めて、桐生市全体でもないように感じております。子供の数が増えていくのが見込まれる中では、現状維持というのは大いに期待は持てますが、少なくなっていく中では、果たして教育環境が十分に整うことができるのか非常に心配されるところです。</p> <p>仮に、中学校が統合したときに、委員がおっしゃっておりましたが、小さい集団から大きい集団になったということで、子供たちの精神的な負担というのは、決して少なくないと思われますので、その辺のところもよく考えていかないといけないと思っています。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。続きまして、委員、お願ひします。
委員	ケース③として、川内小が残る案を出していただき、大変ありがたく思っております。先ほどPTA会長から、アンケート結果のご報告がありましたが、この時期、学校では学校評価アンケートを実施しており、学校の教育活動を保護者の方から評価していただいている。保護者の回答が、昨年度とかなり傾向が変わりました。統廃合についての自由記述が多くありました。その中の一つを読ませていただきます。「小学校統合の話が出ておりますが、統合は見合わせていただきたいです。統合によるメリットとデメリットを考えると、統合した場合、川内地域から子供が消えるのは目に見えています。川内地域は、産婦人科から保育園、小中学校、高校まで子育てするための施設が全部揃っています。我が家はそれがあったので、移住してきました。」このよ

発言者	発言内容
	<p>うなことが書かれておりました。川内小近くの団地に住んでいる方のお話ですが、「学校がなくなってしまうと、息子夫婦が帰ってこなくなってしまうので困る。」というような意見もありました。</p> <p>学校評価やPTA会長からの報告を聞きますと、保護者や地域から理解が得られていないという状況のようですので、もう少しケース③で様子をみていただいても良いのかなと思います。</p> <p>小学校の入学が近づいて、子供の数が少し増える傾向が見られます。今年も教育委員会から報告があった新1年生の児童数が、ここに来てわずかですけれども増えています。移住してくるとか、里帰りしてくるというような方もおりますので、このケース③で様子を見ながら、本当に子供の数が減ってしまったら、そこで考えれば良いのかと考えます。今の段階で結論を出すことによって、様々なひずみが出るのかと思われますので、学校を預かる者としては、ケース③で待っていただいた方がよろしいのかと考えます。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>川内小のPTAのアンケートによりますと、おおよそ過半数強の方が、ケース③に賛成しています。先ほど校長先生からもありましたように、教育環境は非常に大切なことだと思っております。そして、自然の環境、人的な環境等を考えた場合に、例えば、過去を振り返ってみると、川内北小と川内南小が一緒になって中学校に進学したわけですが、その頃の川内北小はだいぶ人数が少なくて、川内南小の児童は倍近くいました。その時と今の子供たちでは環境や、考え方方が違うかもしれません、確かに、川内北小の少ない児童と川内南小の多くの児童が、中学で合流するときには非常に不安がありました。しかし、その不安は1学期だけのこと、あとはすぐ馴染んでいきました。今の子供たちは、多少の個人差はありますが、順応性が高いので、先ほど小学校の校長先生もおっしゃっておりましたが、もう少し様子を見ても良いのではないかでしょうか。</p> <p>区長さんに空き家対策についてお願ひしたいのですが、以前小中一貫校の話題が出た際にもお話をしたのですが、今、川内は空き家が増えていますので、安く移住してこられます。例えば、川内町5丁目5町会の町会長をしていたときも移住してきた人がおります。小学生だけではなく、高齢者もいますけど、うちの組合でも移住してきた人はいますが、子供はいなかったです。違う組合においては、小学校の子供たちが1件空き家に移住してきました。区としても、移住に対して、川内は良いところがあるということをもう少しアピールして、更に川内に移住してきてもらえるような対策を、区を挙げて検討していただきたいと考えております。</p> <p>今の状況ですと、ある程度アンケートに沿った形で進めるのが妥当ではないかなと思っております。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	先日、相生小と相生中を見学させていただきましたが、中学生ぐらいになれば自転車で、部活も含めて通学できるかと思いますが、小学校については

発言者	発言内容
	<p>今の段階では現実味がないかなと思います。もう少し皆さんに、川内の自然環境を理解してもらいたいという思いが湧いてきました。</p> <p>子供の数が減少していくので、統合は仕方がないという考えではいたのですが、できれば川内小は、もう少し残しても良いのかというように考えが揺れています。</p> <p>私も小学校は川内北小でしたので、川内南小と一緒にになったという経験もしていますが、慣れましたし、いずれにしても高校などに入れば、全く知らない人たちの間に入っていくということは、人生のうちに何度か経験することですので、できれば小学校は維持できるところまでというのが、私の個人的な意見です。小学生や中学生の子を持つ親御さんの意見をもう少し吸い上げて、考えていけたら良いのではないかというのが現状の考え方です。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>1回目の検討委員会に参加させていただいたときは、川内小、相生小、天沼小の3校が一緒になる小学校作りというのは致し方がないのではないかと思って参加いたしました。会議の回数を重ねるたびに、少しずつ思いが変わってまいりまして、ケース③が出て、素晴らしいな、良かったなと思いました。</p> <p>民生委員をしておりますので、保育園、幼稚園、小学校、中学校、そして、高齢者の皆様のそばにおります。中学校の校長先生がおっしゃる中1ギャップなどがあるということは、十分に理解しております。しかし、小学校の校長先生がおっしゃった、川内の環境を残していただきたいという保護者の方々の意見にも賛成です。</p> <p>先ほどの委員がおっしゃったように、先日、相生の小学校と中学校を見学させていただいた際に、中学校は本当に問題ないと思いました。しかし、小学校に関しては、インフラの整備がどうなっているのだろうか、本当に統合までに、間に合うのだろうかという心配をいたしました。小学校の統合を決定するには、早急ではないかというのが率直な意見でございます。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。委員、お願ひします。
委員	<p>PTAのアンケートにもありますとおり、「本当は川内小を残したいが、現状では子供の人数が限界にきていると感じる。非常に複雑な気持ちです。」という意見がありますが、私も同じです。川内には、大学時代を除く40年生活していますので、川内への郷土愛はとてもあります。しかし、確かに限界を感じています。委員がおっしゃった子供が少ないことによるデメリットを感じています。どれが良いというのは非常に難しいですが、川内地区に小学校、中学校がないというのは、確かに非常に厳しい状況であるというのも間違いないです。状況として、中学校は統合して、小学校を残すというような形ですが、小学校は残したい思いがとてもあります。ただ現状維持で残すというのは無理だと思っておりますので、残すのであれば、先ほど委員もおっしゃっていましたが、川内だけではなく桐生市を挙げて、抜本的な改革を行うことで、川内に人が来てもらうような状況にしない限りは、結局のところ、将</p>

発言者	発言内容
	<p>来統合になってしまいます。現状維持で良いのではなくて、そのような行動をするのであれば賛成ですし、力を尽くしたいと思います。</p> <p>思うところはいろいろありますが、これから子供にとって何が良いのかを考えることが一番大事かと思っております。川内単独で考えるのではなくて、桐生市全体で、日本全体の問題なのかもしれないですが、未来の子供たちが、心身ともに豊かに育つことをみんなで考えていき、その中の結論であれば、子供たちは順応する力はあると思いますので、どこに行ったとしても、楽しく元気にできると思います。それを皆で考えることが重要で、もちろん答えは重要ですが、皆さんが出した答えであれば、それが一番良いと思います。子供たちのことを第一に考えながら、皆さんで決めたいと私は思っております。今のところ具体的なことは見つかっていませんが、私の思いはそういうところです。</p>
議長（委員長）	ありがとうございます。続きまして、委員、お願いします。
委員	<p>私も1週間前に相生小と相生中を見学し、周辺の道路状況を見させていただきました。中学校については、小学校もそうですが、相生中学校区側からは、地域協議会の場で、受け入れ体制はいつもウェルカムだということを言ってください、非常にありがたく思っています。</p> <p>中学校に関しては、キャパも十分で、送迎などもしやすいような敷地の状況でした。施設関係では、市民体育館を借りられるなど良いところがあるということが率直な感想です。小学校に関しては、通学のことが一番の課題ですが、距離的に近くはないですし、危険な箇所もあるので、現実的ではないかなという考えになりました。</p> <p>相生小の校長先生からお伺いしたお話では、地域学習などは学校単位で決められるということですが、川内小に比べて少ないという印象があります。逆に川内地区から学校がなくなったときに、相生地区から川内地区へ、資源を生かすための地域学習に来ることは、なかなか難しいと感じましたので、なるべく小学校は残していただきたいと思いました。</p> <p>また、川内文化祭に参加させていただいていますが、川内地区は、子供と地区の方が繋がる機会が多く良いところだと思います。他の地区でも、文化祭や様々なイベントがあるかもしれないですが、川内の文化祭のように、大々的にコミュニケーションが取れる行事があるというのは、子供たちの心身の成長には、とてもプラスに繋がると感じています。</p> <p>結論から言いますと、小学校は残していただきたいですし、中学校になれば子供の輪も広がりますし、SNSの活用など私たちと違って今の子供はとてもうまいですし、ネットワーク作りは得意なのかと思います。昔に比べれば、コミュニティは作りやすいというメリットがあるのかと思います。私の意見はそんな感じです。</p>
議長（委員長）	ありがとうございました。委員、お願いします。
委員	本日欠席の保育園の保護者代表の委員から、お子さんを通してお手紙を預かったのですが、ここで読み上げてもよろしいでしょうか。

発言者	発言内容
議長(委員長)	はい、お願ひします。
委員	<p>川内地区は、山を挟む地形であり、決して通学しやすい環境とは言えません。仮に1クラスになったとしても、この地区に小学校は残すべきだと強く思っています。小学校がなくなることは、地域の三つの保育園の存在意義の喪失や、子育て世代が川内を居住地として選ばなくなることにも繋がり、地域の衰退が加速してしまうのではないかと危惧しています。就学時健診では、川内小の児童数が相生小より1名多いと伺いました。川内小の児童数は決して著しく少ないわけではなく、本当に統合が必要なのか判断しづらい状況です。</p> <p>学童の指導員の方からは、川内小、相生小、天沼小の統合後、学童が10クラス以上になる可能性があると聞きました。しかし、統合先である相生小にそのような規模を受け入れられる空き教室があるとは考えにくく、その点に関する説明が、学童関係者に十分に共有されていないように感じます(10月の時点の話ですが)。これから川内小に入学する子供の保護者として、地域から小学校が失われてしまうことのないよう、慎重にご検討いただきたいと切に願っております。以上です。</p>
議長(委員長)	それぞれの委員の意見に対して、質問等あれば、举手をお願いします。委員、お願ひします。
委員	<p>通学の件ですが、実は今朝、川内から相生に通学するときに通る相生の北門を見学したのですけれども、踏切があり、そこに交通指導員の方がいました。私もそこに約30分立たせていただいて、状況を見させていただきました。川内から来るのを確認しますと、ローソンから来る場合と、サンウェーブから曲がって来る場合があります。子供の送迎ですけども、門の中に入つて子供を降ろしていく保護者と、踏切前の道路と北門から校舎に入る道はV字型に曲がっていますが、上手に利用してそこで降ろしていく保護者がいます。川内小が一緒になると、スクールバスを利用するとしても、車は当然増えると思います。通学の面では、問題があるような感じがいたしました。</p> <p>それから、学童ですが、どのような対処をするのかが課題です。今は川内小を使っていますけど、相生小は遠いですから、学童を考えた場合には、保護者の負担などが増すのではないかと思います。交通の面での不便さなど、学童を相生地区に置いた場合の負担が増えてしまうと感じました。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	委員のご意見に関連したことで、二つあります。川内を残す場合も、ただ残すだけではなく、人を集めの努力をしないといけないという意見に関連して紹介します。本校6年生が、総合的な学習の時間で、川内に人を集めようプロジェクトに取り組みました。先日の川内文化祭でも、学習成果を掲示させていただきました。きっかけは、秋になると、報徳寺には行列ができ渋滞が起きるほど人が来るので、なぜ町内を素通りしてしまうのかという子供たちの思いから、子供らしい様々な案が出ました。例えば、みやま園の跡地に、

発言者	発言内容
	<p>道の駅を作り、修学旅行の経験から鳩サブレではなく、ヤマドリサブレを作つて売れば良い。白滝姫をもじつて白滝うどんや、サイダーに黄色を入れて螢を表したら良いのではないかなど、魅力的なことを子供たちが考えました。仮に道の駅ができるとすれば、婦人会で作つている山椒の工場などで雇用が生まれ、人を増やすことに繋がると、子供たちは考えていました。社会に開かれた教育課程ということで、子供と社会が繋がつて、学びが実生活に生かせるようなものが求められていますが、川内地区というのは、教育の上でも魅力があり、人が増える潜在能力のある地域だと思います。</p> <p>二つ目ですが、これも委員がおっしゃっていましたが、子供と地域の繋がりがとてもある地区だと思います。今年度実施された全国学力学習状況調査で本校の結果が出ましたが、大人や地域の人たちにお世話になつていると感じているか、という質問項目がありました。川内小の子供たちは、国や県の平均に比べてかなり割合が高かったです。この結果からも、子供たちが、地域の人にお世話になつていることが感じられます。その他に、周りや社会の人たちに対して、役に立ちたいと思っているかという項目でも、国や県の平均より本校の子供たちの割合は高い結果でした。素晴らしい地域であり、地域の方々と子供たちの繋がりのある地域だということを、日頃から感じております。</p>
議長（委員長）	<p>ご意見ありがとうございました。今後の参考になるかと思います。</p> <p>今までの皆様の意見をお聞きしますと、小学校は残したいというご意見が多数であったと思います。ただいま委員からお話がありましたように、ただ残すのではなく移住者を増やす。先ほど委員からもお話がありましたが、移住者を増やすということも一つあります。また、子供たちを巻き込んでの小学校の活性化ということも、大きな課題になると思います。</p> <p>いずれにしても小学校を残すというのが、一つの結論になるのかと思いまして、小学校については、残すという方向で進めていきたいなと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>続いて、資料18の8ページと、資料20の2ページ、先ほどの報告を参考に、中学校の方向性について、皆さんのお意見をお聞きしたいと思います。委員から、中学校についてお願ひします。</p>
委員	<p>中学校に関してですが、中学校は教科担任による授業や部活動、そういうことも含めて、先日視察させていただいた相生中は、十分な大きさのある学校だと思いました。例えば、保護者が車で送迎した場合でも、車の動線が確保されている印象がありました。川内から自転車で通学するとなると、遠い子供は10キロメートルぐらいあるかと感じていますので、スクールバスなども考えられますし、自転車が安全に通れるような整備も進めていただきたいと思います。</p> <p>先ほどのご意見の中にもありましたように、中学校に関しては、中1ギャップという懸念はありますが、今後子供たちが部活とかそういう活躍する場も必要ですので、相生中と統合は必要と私は考えております。</p>

発言者	発言内容
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>現在、川内中は、各学年2クラスずつあります。もう1クラス、あるいはそれ以上クラス数があれば、更に教育活動全体が充実すると思っています。クラス数が増えることで、子供たちの活動に活気も出ますし、指導支援する先生方の人数も充実すると思っています。</p> <p>部活動につきましては、偶然なのかどうかわかりませんが、野球部とサッカーチームについては、相生中と合同チームを作つて活動しているという状況になっております。</p> <p>通学に関しては、心配しているのですが、今年度、川内中は自転車事故の件数が多くなっていますので、通学距離が更に長くなりますと、何か対策を打つ必要が出てくると思っています。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>先日、相生小と相生中を視察しましたが、相生中はとても魅力的だと感じました。敷地が広くて校舎も広く、部活動などで運動公園や市民体育館も使用できるなど、子供たちにとってメリットがあると感じました。</p> <p>部活動では、外部団体が関わってくださっているということで、生徒一人一人の適性に応じているとも感じました。また、全ての教科で専科の先生が揃うことができますので、子供たちにとっても良好な学習環境が整っていると思いました。</p> <p>懸念されている通学の問題が、整理されれば良いのかなと思います。大型バスが敷地内を通り抜けられるようなスペースもありましたので、正直驚きました。中学校は通学の問題を考えれば、相生中が望ましいと感じました。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>先ほど委員や校長先生がおっしゃったように、相生中は学校としての環境がとても整っています。部活動、教育面では、指導する先生の専門性が確保できるということなど、メリットの方が非常に大きいということです。</p> <p>先ほど皆さんがおっしゃったように、通学の距離が非常に長いことを考えますと、中学1年生などは体力もありませんので、スクールバスなどいろいろ工夫をしていただいて、何とか相生中との統合がうまく進められるように、皆さんで工夫しながら、知恵を出し合つたら良いのではないかと考えますので、統合には賛成です。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	私も基本的には賛成ですが、いざれにしましても、川内中と相生中が一緒にになりますと、橋を渡らないと学校に行けません。相川橋か赤岩橋を必ず通らないと行けませんので、その点が一番の心配です。相川橋の方から行くとなると清桜高校と、通学時間が重なりますから、統合の話が決まるのでしたら、通学に関する事を進めていかないと、事故につながることを懸念しております。
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。

発言者	発言内容
委員	<p>委員の方々と同じ意見です。視察をしましたが、プールなど本当によく整備されておりました。体育館はちょっと古いので、修繕が必要な面もあるかとは思いますけれども、他はもう、どのような部活があってもできるなと思いました。テニスコートもございましたし、素晴らしいなと思いました。</p> <p>委員がおっしゃったように、通学の問題さえクリアできれば、本当に相生中は望ましい学校かと思いました。その辺を教育委員会の方で作っていただければと思います。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>小学校が残せれば中学校は致し方なく、人数の上でも相生中が望ましいのかとは思っております。中学生は、いろいろな行事など、人数が少なく、部活動もそうですが、支障が出ていると感じています。合唱コンクールなども、今の人手でも皆さん頑張っていますが、もう少し人数がいれば、もっと力強い合唱になると感じています。これ以上少なくなるというのは、厳しいというのがありますので、相生中という学校も仕方ないというか、それが一番良いのかなと思っております。</p> <p>通学については、私の家は川内の5丁目の奥ですから、かなりの距離があります。川内の1丁目とか4丁目からもかなり距離があると思いますので、自転車のルートなどを決めて、最初は親が見守るなどしないと、事故は起きると思います。高校生になっても事故が起きますので、中学生も危険なことはあると思いますから、重大事故が起こらないようにしていくことが一番大事なことかなと思います。</p> <p>話はそれるかもしれません、川内中がなくなつた場合に、今後の川内地区にとって、川内中の使い方も大事だと思っております。川内北小のこともありますので、川内中を残し、それを生かして、先ほど校長先生が話された道の駅などでも良いですし、何か川内地区を活性化するようなことに使って欲しいという思いはとてもあります。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。委員、お願ひします。
委員	<p>皆さんと同じ意見ですが、先ほどもお話をさせていただきましたように、中学校は統合しても良いということです。今回見学させていただいて、設備的にはとても良いという印象を受けました。車で送迎するにしても、入ってきてそのまままっすぐ抜けて、道沿いに大きな通りに出られるというメリットもありました。</p> <p>また、委員からもありましたけど、中1ギャップが心配されますが、遅かれ早かれ誰も知らない、環境がガラッと変わるというところは、人生においては何回も経験することだと思いますので、心身ともに一番成長する時期が中学校であるように感じております。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。皆さんの意見を伺いますと、方向性としては、相生中との統合を進めたいということで理解いたしました。</p> <p>ケース①、ケース②がありまして、統合を令和10年度に行うのか、令和</p>

発言者	発言内容
	13年度の方が良いのか確認していました。相生中学校区の要望から、令和13年度に統合するケース②が出されましたので、一緒に統合した方が良いのかと思いますので、川内地区も令和13年度ということで、ご理解をお願いしたいと思います。特に、支障ないということでおろしいでしょうか。
委員	【特になし】
議長(委員長)	ありがとうございます。協議がまとまったということで、本日、委員の皆様からいただいたご意見をまとめますと、中学校の方向性については、ケース②の令和13年度に統合するということで、概ね良いという意見が多いように思います。このため、地域協議会では、本日のご意見を報告し、学校規模等適正化について協議したいと思いますので、よろしいでしょうか。
委員	【了承】
議長(委員長)	ありがとうございます。それでは、現時点の川内中学校区検討委員会の方向性につきましては、小学校はケース③、中学校はケース②という方向性で進めていきたいと思います。本日のご意見を地域協議会に報告し、他の中学校区の考え方をお聞きしながら、学校規模等適正化の方向性を協議していきたいと思います。本日の協議事項は、以上になります。大変ありがとうございました。 その他、委員の皆様から全体を通じて、何かご意見がございましたら、举手をお願いします。委員、お願いします。
委員	川内小を残すにあたって、案として、現在学区がありますが、学区をなくすことは、可能かどうか分かりませんが、なくても良いと私は思っています。理由としては、市内にかなりの数の保育園があると思うのですが、以前は、家の近くの保育園に行くということが多かったと思います。今は、保育園の特色で選んだり、自分の子育てに合わせて保育園を選んだりという時代になってきていると思います。仕事の関連や送迎しやすいという理由もあると思います。 また、川内小の特色を生かした教育方針やイベント、例えば、遠足、登山などの自然体験、田植えや畑などの特色を生かした教育があります。学区があると、基本的に行きたくても行けず、どうしても指定された学区の小学校に行かなければならぬので、好きな小学校を選択できると非常に良いと思います。今、保育園については、それぞれの保育園の保育方針で、保育園を決めている保護者が増えてきていると思います。学区がなくなれば、逆に川内小は人数が少ないので行きたい、自然の中で育てたいので行きたいという人は必ずいると思います。保育園もそうですが、100人以上のような規模が大きい保育園で保育してもらいたいという親もいれば、逆に人数の少ない保育園で育てたいという親もいますので、川内で子育てができることにメリットがあるのでないでしょうか。小規模でも魅力があれば残していくのではないかと思いました。
議長(委員長)	ありがとうございました。

発言者	発言内容
	学区については私が答えるても大丈夫でしょうか。前橋の事例ですが、前橋で学校区をなくしたそうです。そうしましたら有名小学校に想定外の人数が集中してしまい、収集がつかなくなってしまったという話を聞きました。ということは、ある程度、学校区は必要だと思います。
委員	学校区がないと、学年ごとに子供の数がかなり変わってしまうことですか。
議長（委員長）	私の情報ではそういうところがありましたので、参考にしていただければと思います。
委員	逆に言うと、学校区がなくなると、川内に大変な人気が出ることもあります。そういうこともありますね。
議長（委員長）	ありがとうございました。本日、予定しておりました議事は以上で終了になります。ここで議長の任を解かせていただきます。皆さん、ご協力ありがとうございました。

## 5 その他

## 6 閉会 [終了：午後 3 時 23 分]